



多くの住民の声が届く
まちづくりに

住民参加のまちづくりは 参加の強化をしていく



三井 幹人 議員

質問 新しいまちづくりについて、住民参加をどのように進めるか。長期計画のなかで、多くの町民を巻き込んで進めてはどうか。

答弁 住民参加のまちづくりは、これから避けて通れない行政運

営の重要な手法であると考えています。審議会等に町民を巻き込んだものに強化し、会議の結論に期待をしています。現在進めている第4次総合計画に明文化をしていく予定です。

質問 次世代育成支援計画(子育て支援)で富士見らしさはどこにあるか。計画の実行に向けてどのように取り組むか。

答弁 この計画は策定委員会でのニーズ調査

子育て支援計画の富士見らしさは 実施可能なものを計画

をもとに、5年間で実施可能なものを計画しました。今後は各課で方針に従って進めて行くこととなりますが、具体的な取り組みはその後になります。



小林 市子 議員

質問 町の財政状況や業務内容を、もっと住民に理解しやすい情報で提供ができないか。

答弁 町の財政状況や主要な業務を、理解しやすく伝達する努力はしています。

理解しやすい情報提供は
努力をしていく

「広報ふじみ」で情報を公開しておりますが、これ以上省略するとわからなくなり、全部公開すると判断が難しくなります。できるだけわかり易く情報を提供することは必要と考えています。ただ途中経過などの確かでない情報を提供することは慎むべきことだと考えています。

